

で、中土佐町の防災対策に関する講演の後、萩原地区自主防災会の池田副会長と自主防災活動についての意見交換を行いました。

沿岸部では津波から身を守るために、地震発生後すぐに避難を行う必要があり、日中は元より、夜間にも避難訓練を実施するなど、自主防災会と行政が連携して様々な取組が行われています。

その後、5月に完成した久礼大正町市場近くの津波避難タワーを見学しました。この施設は、津波到達時間までに安全な場所に避難できない地域の人々や観光客など約400人の避難者を収容可能となっており、水や食料、簡易トイレなども備蓄されています。

中山間地域は、海や川からの津波による被害は想定されていませんが、今回の研修を



通じて、沿岸地域と同様に、地震に対する事前の備えと、日ごろからの訓練の実施が大切であると再確認しました。

ニュース 吾北地区防災訓練開催

昨年度から取組が始まった、吾北中学校、追手前高校吾北分校と地域の自主防災会との合同訓練が、11月8日に吾北分校で開催されました。

「災害は天候を選ばない」との考えのもと、雨の中160人以上の参加者が熱心に訓練に取り組みました。

骨折や裂傷などの応急処置、竹や毛布など身近な物を使った簡易な担架の作成方法など、災害時に実際に役立つ知識や技術について学びました。

また、炊き出し訓練では、自主防災会や食生活改善推進協議会の方々の指導のもと、生徒たちが協力してカレーライスや汁物の調理を行い、参加者全員で美味しくいただきました。

今回の訓練では、吾北中学校と吾北分校の生徒会も参加して、訓練の計画を作成しました。次回以降も生徒たちのアイデアを取り入れながら、

地域との交流がより一層深まるような訓練を目指して取組が続けられます。



ニュース 秋の火災予防運動期間中の行事について

11月9日から15日までの秋の火災予防運動期間中、各地で火災予防運動が実施されました。

また、幼年消防クラブが火災予防を訴えるため、町内の各幼稚園保育園で防火パレードが実施されました。



ニュース 伊野方面隊秋季演習を実施

秋の火災予防運動期間中の11月13日、いの町消防団伊野方面隊の秋季演習が高知県消防学校体育館で行われ、普通救命講習を行いました。普通救命講習は3年に一度の受講が望ましいとされており、今回3年ぶりに実施され、総勢88名が参加しました。

講習では、仁淀消防署員指導のもと、心肺蘇生法やAEDの取扱方法、搬送法など、救命措置や応急手当について学びました。

参加した団員は、今回の講習を通じて救命措置や応急手

当の重要性を再認識できたことと思います。
仁淀消防組合では、毎月第2日曜日9時から定期普通救命講習を実施しています。受講を希望される方は、消防署救急係（☎89313221）までお問い合わせください。



1月の消防団行事予定

- 1月8日(日) 消防出初式 (高知県消防学校)
- 1月22日(日) 初午祈願祭
- 1月26日(木) 文化財防火デー消防訓練 (八代神社、山中家住宅、新郷土館)